

この教材は、宝生流能楽師 田崎 甫が企画した私的な催し「臥牛サロン」の記録動画をもとに制作されました。

臥牛サロンは、田崎甫が「少人数の能楽師による”小さな能楽”」を目指し、能の物語を軸に仕舞・謡・解説で番組を構成し、藝大邦楽科同級生の宝生流能楽師 葛野りさの協力を得て、静岡県富士宮市の臥牛敷舞台上で少人数の観客に向けて2年間（16公演）続けてきたものです。

その記録動画が残されていたので、他の若手能楽師へ”小さな能楽”の公演方法を伝えるために、実演動画（字幕付き）と詞章解説の副読本を教材としてまとめました。

教材の構成

謡・仕舞の字幕へ



実演の副読本(PDF)

行番	役	詞章	現代語訳	トークのヒント
1	シテ	鶺鴒舟にともす篝火の	鶺鴒舟にともす篝火の光でこのあたりは明るく見えるが	(①【能「鶺鴒」のあらすじ】)

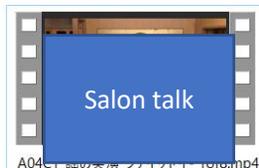
① 【能「鶺鴒」のあらすじ】

ある旅僧（ワキ）が従僧（ワキツレ）を連れて
甲斐国（山梨県）への旅を思い立ちます。
この旅僧、「安房の清澄」の出身であると

詞章解説のネタへ



トークのネタへ



企画



田崎 甫
はじめ

シテ方宝生流職分
1988年 神奈川県生まれ、叔父の宝生流能楽師 田崎隆三に師事。2011年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、20代宗家宝生和英の内弟子。同年「金札」で初シテ。2018年独立。九段「幸宝会」主宰。2019年4月より東京藝術大学音楽学部教育研究助手。

執筆



葛野 りさ
かどの

シテ方宝生流職分
平成元年生、富山県富山市出身。20代宗家宝生和英に師事。平成23年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。平成24年「清経」ツレにて初舞台を踏み、平成29年「田村」で初シテ。2020年より川村学園女子大学非常勤講師。

この資料は、特定非営利活動法人映像産業振興機構より、文化庁「文化芸術収益力強化事業」の採択を受け、企画/執筆者の協力を得て、たのじ合同会社が制作しました。